

**MANAGING DEVICE FOR PRESCRIPTION INFORMATION**

Patent Number: JP2001325358  
Publication date: 2001-11-22  
Inventor(s): MATSUMOTO KAZUMI  
Applicant(s): MATSUMOTO KAZUMI  
Requested Patent: ☐ JP2001325358  
Application Number: JP20000141122 20000515  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F17/60  
EC Classification:  
Equivalents: JP3344484B2

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To protect the privacy of a patient by sending prescription information, by a doctor or dentist of clinical facilities by clinical consultations, on medicines that a patient is doped with to a medicine preparing pharmacy or the patient and effectively preparing the medicines according to the prescription.

**SOLUTION:** The managing device for prescription information set for a computer of the medical facilities is equipped with a prescription data registering means which sets and registers prescription information of medicines, issued by the doctor or dentist of the medical facilities by clinical consultations, that the patient should be dosed with as prescription code data, a transmitting means which sends the prescription code data registered in the prescription data registering means from the computer of the patient corresponding to the data and the computers of plural medical facilities to a medicine preparing network server receiving the prescription code data.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-325358  
(P2001-325358A)

(43) 公開日 平成13年11月22日 (2001. 11. 22)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 17/60

識別記号  
1 2 6

F I  
G 0 6 F 17/60

テーマコード\* (参考)

1 2 6 N

審査請求 未請求 請求項の数32 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2000-141122 (P2000-141122)

(22) 出願日 平成12年5月15日 (2000. 5. 15)

(71) 出願人 500218242

松本 和巳

東京都港区西麻布4-13-23-702

(72) 発明者 松本 和巳

東京都港区西麻布4-13-23-702

(74) 代理人 230100022

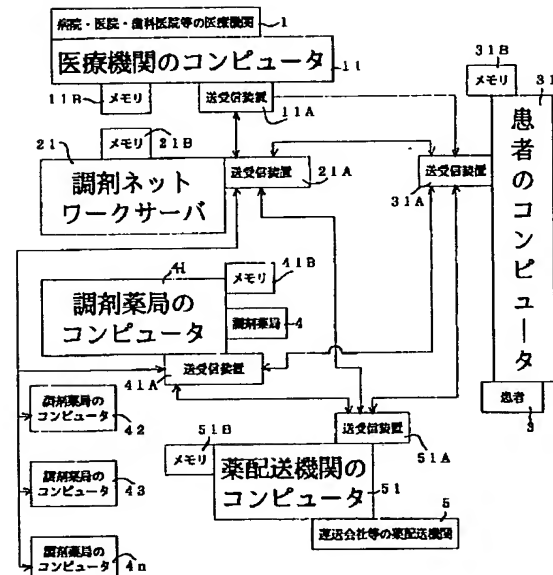
弁護士 山田 勝重 (外3名)

(54) 【発明の名称】 処方箋情報の管理装置

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報を、調剤薬局、患者等へ送信し、処方箋に基づく調剤を効率的に実行し、患者のプライバシーの保護を図る。

【解決手段】 医療機関のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置に、医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬を処方箋情報を処方箋コードデータとして設定し、登録する処方箋データ登録手段と、上記処方箋データ登録手段に登録された処方箋コードデータを当該データに対応する患者のコンピュータ、並びに複数の医療機関のコンピュータから処方箋コードデータを受信する調剤ネットワークサーバへ送信する送信手段と、を備える処方箋情報の管理装置とした。



# 【特許請求の範囲】

【請求項1】 医療機関のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報を処方箋コードデータとして設定し、登録する処方箋データ登録手段Aと、上記処方箋データ登録手段Aに登録された処方箋コードデータを当該データに対応する患者のコンピュータ、並びに複数の医療機関のコンピュータから処方箋コードデータを受信する調剤ネットワークサーバへ送信する送信手段Bと、を備える処方箋情報の管理装置。

【請求項2】 請求項1に係る処方箋情報の管理装置において、処方箋データ登録手段Aに処方箋コードデータとして設定し、登録される処方箋情報には、患者へ投与すべき薬の内容、種類、量、服用法並びに薬のアレルギー情報の他、患者の氏名、保険者番号、保険の種類、本人負担割合からなる患者データ、被保険者名、被保険者番号からなる被保険者データ、医療機関名、処方箋発行担当医師または歯科医師からなる医療機関データが含まれてなる処方箋情報の管理装置。

【請求項3】 請求項1に係る処方箋情報の管理装置において、送信手段Bは、送信する処方箋コードデータに付随して、当該データに対応する照合データPa1を患者のコンピュータに向け、当該データに対応する被照合データQa1を調剤ネットワークサーバに送信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項4】 請求項1に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバは、各調剤薬局に設置されるクライアントコンピュータを統轄するコンピュータとされ、特定地域の薬剤師会、特定薬局グループの本部、特定医療機関周辺の各薬局の連合組織に設置されるものである処方箋情報の管理装置。

【請求項5】 複数の医療機関のコンピュータ、各患者のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続される調剤ネットワークサーバに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信する受信手段Cと、受信手段Cにより受信された処方箋コードデータを、調剤ネットワークサーバが統轄する調剤薬局のうちの特定の調剤薬局のコンピュータに送信して処方箋コードデータに基づく調剤の実行を依頼する送信手段F1と、を備える処方箋情報の管理装置。

【請求項6】 複数の医療機関のコンピュータ、各患者のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続される調剤ネットワークサーバに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に

関する処方箋コードデータを受信する受信手段Cと、医療機関のコンピュータから患者のコンピュータに送信され、当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに当該患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータ並びに該データに基づき患者が指定する特定の調剤薬局で該データによる調剤の実行についての依頼を患者のコンピュータより受信する受信手段Dと、受信手段Cと受信手段Dにより受信される各処方箋コードデータとを照合する照合ステップEと、照合ステップEにおいて受信手段Cと受信手段Dにより受信された各処方箋コードデータの照合が確認された状態で、患者が指定する特定の調剤薬局のコンピュータに向けて対応する処方箋コードデータを送信して処方箋コードデータに基づく調剤の実行を依頼する送信手段F2と、患者のコンピュータに向けて、上記送信手段F2により調剤の実行を依頼した調剤薬局に関する情報を送信する送信手段G2と、を備える処方箋情報の管理装置。

【請求項7】 請求項6に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバと通信回線により接続される各調剤薬局の場所、営業時間に関する薬局情報を患者のコンピュータからのアクセスに基づき開示し、あるいは患者のコンピュータに向けて送信する薬局情報の開示手段Hと、開示手段Hにより開示された薬局情報に基づき、患者のコンピュータから患者が処方箋情報に基づく調剤並びに調剤された薬の受取りを希望する薬局に関する指示情報を受信する受信手段Iと、を備え、該受信手段Iにより受信した指示情報に基づき、患者の希望する調剤薬局のコンピュータに、送信手段F2により調剤の実行について依頼するとともに、調剤依頼が送信された薬局のコンピュータにおいて受任された状態で患者のコンピュータに向け、当該薬局の受任確認並びに薬の受取り時間に関する情報を送信手段G2により送信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項8】 請求項6に係る処方箋情報の管理装置において、受信手段Cにおいては、受信する処方箋コードデータに付随し、医療機関のコンピュータが設定した被照合データQa1が併せて受信され、一方、患者のコンピュータからは、同じく医療機関のコンピュータが設定した照合データPa1が併せて受信され、照合ステップEにおいては被照合データQa1と照合データPa1の照合が併せて実行されるようにしてなる処方箋情報の管理装置。

【請求項9】 請求項5または6に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバと通信回線により接続される複数の調剤薬局コンピュータは、特定地域の薬剤師会に属する調剤薬局、特定薬局グループの調剤薬局、特定医療機関周辺の各薬局に設置されるコンピュータとされ、調剤ネットワークサーバは、これら各コンピュータを統轄するものである処方箋情報の管理装置。

【請求項10】 請求項5または6に係る処方箋情報の管理装置において、送信手段F1またはF2に基づき調剤薬局のコンピュータに向けて送信する処方箋コードデータ並びに調剤の実行についての依頼に付随して、当該データに対応する被照合データQb1を対応する調剤薬局のコンピュータに送信するとともに、上記被照合データQb1に対応する照合データPb1を患者のコンピュータに向け、調剤薬局に関する情報とともに送信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項11】 請求項5または6に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバはさらに薬配送機関のコンピュータにも接続され、医療機関のコンピュータあるいは患者のコンピュータから受信する処方箋コードデータに基づく調剤の実行についての依頼に付随して、該処方箋のコードデータに対応する患者への薬の配送先住所からなる配送先情報を受信するとともに、処方箋コードデータとこれに付随する配送先情報、さらに送信手段F1またはF2により調剤の実行についての依頼を行った調剤薬局の住所、場所に関する薬局情報を薬配送機関のコンピュータに向けて送信し、調剤された薬の対応する調剤薬局でのピックアップ並びに患者への配送の実行についての依頼を送信する送信手段Jを備え、送信手段F1またはF2により調剤の実行についての依頼を行った調剤薬局に対しては、処方箋コードデータに付随して、薬配送機関名、当該調剤される薬のピックアップ時間などからなる薬配送機関情報を、対応する調剤薬局のコンピュータに送信し、さらに患者のコンピュータに向けて送信される調剤薬局に関する情報に付随して、当該調剤薬局でピックアップされ、患者が指定する住所に当該薬の配送を実行する薬配送機関名、当該薬の配送時間などからなる配送情報を患者のコンピュータに送信するようにしてなる処方箋情報の管理装置。

【請求項12】 請求項11に係る処方箋情報の管理装置において、送信手段Jにより、薬配送機関のコンピュータに、調剤された薬の対応する調剤薬局でのピックアップの依頼を実行するに際し、当該薬に対応する照合データPc1を配送機関情報に付随させて薬配送機関のコンピュータに送信し、一方、送信手段F1またはF2により、調剤薬局のコンピュータに対して処方箋コードデータ並びに薬配送機関情報を送信するに際しては、上記照合データPc1に対応する被照合データQc1を調剤薬局のコンピュータに併せて送信し、薬配送機関により調剤薬局で対応する薬をピックアップする際、照合データPc1と被照合データQc1の照合を行った上、薬のピックアップを実行させることとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項13】 請求項11に係る処方箋情報の管理装置において、送信手段Jにより、薬配送機関のコンピュータに、調剤された薬の対応する調剤薬局でのピックアップを依頼し、さらに該ピックアップされた薬を対応す

る患者に配送依頼する場合に、当該薬に対応する照合データPd1を配送先情報に付随させて薬配送機関のコンピュータに送信し、一方、患者のコンピュータに対して薬の配送情報を送信するに際しては、上記照合データPd1に対応する被照合データQd1を患者のコンピュータに送信し、薬配送機関により調剤薬局でピックアップされ、さらに患者が指定する住所に当該薬を配送した際、照合データPd1と被照合データQd1の照合を行った上、薬の配送を実行させることとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項14】 医療機関の医師または歯科医師の診療を受けて、診療ごとに該医師または歯科医師から投与される薬の処方箋の発行を受ける患者のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信する受信手段K、を備える処方箋情報の管理装置。

【請求項15】 請求項14に係る処方箋情報の管理装置において、受信手段Kにより受信される処方箋コードデータを複数の調剤薬局のコンピュータを統轄し、管理する調剤ネットワークサーバに向けて送信し、該調剤ネットワークサーバにおいて対応する医療機関から送信される処方箋コードデータとの照合を実行させて調剤ネットワークサーバから特定の調剤薬局に処方箋コードデータに基づく薬の調剤依頼を実行させることとなる送信手段Lと、を備える処方箋情報の管理装置。

【請求項16】 請求項15に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバにおいては、患者のコンピュータからのアクセス並びに患者のコンピュータへの送信により各調剤薬局の場所、営業時間に関する薬局情報を開示し、送信手段Lにおいては開示された薬局情報に基づき、調剤依頼を行う特定の薬局を選択し、該特定の調剤薬局に対する処方箋コードデータに基づく調剤の実行の依頼を送信するとともに、薬の当該薬局での受取り日時その他の指示情報を併せて送信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項17】 請求項14または15に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバにおいて調剤依頼を行った調剤薬局に関する情報を調剤ネットワークサーバより受信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項18】 請求項14または15に係る処方箋情報の管理装置において、送信手段Lにより調剤薬局に対し薬の調剤依頼を実行した後、調剤ネットワークサーバより当該薬局の調剤に関する受認確認並びに薬の受取り時間に関する情報を受信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項19】 請求項14または15に係る処方箋情報の管理装置において、患者のコンピュータは通信機能

を備えたモバイルコンピュータ、携帯電話などの携帯情報端末である処方箋情報の管理装置。

【請求項20】 請求項15に係る処方箋情報の管理装置において、受信手段Kにおいては受信する処方箋コードデータに付随して、当該データに対応する照合データPa1を医療機関のコンピュータから受信するとともに、該照合データPa1を送信手段Lにより処方箋コードデータに付随して調剤ネットワークサーバに送信し、調剤ネットワークサーバにおいて医療機関のコンピュータから受信される対応する処方箋コードデータに付随する被照合データQa1と上記照合データPa1との照合を実行させることとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項21】 請求項14または15に係る処方箋情報管理装置において、調剤ネットワークサーバはさらに薬配送機関のコンピュータにも接続され、該サーバは送信される処方箋コードデータに付随して、当該患者への薬の配送先住所や配送希望日時からなる配送先情報を薬配送機関のコンピュータに送信し、調剤ネットワークサーバは、処方箋情報に基づく調剤を実行する調剤薬局に関する情報の他、当該調剤薬局でピックアップされ、患者が指定する住所に当該薬の配送を実行する薬配送機関名、当該薬の配送時間などからなる配送情報を受信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項22】 請求項21に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバにおいては、薬配送機関のコンピュータに、調剤された薬の対応する調剤薬局でのピックアップを依頼し、さらに該ピックアップされた薬の配送を依頼する場合に、当該薬に対応する処方箋コードデータ並びに照合データPd1が該サーバから薬配送機関のコンピュータに送信され、一方、調剤ネットワークサーバからは、上記照合データPd1に対応する処方箋コードデータ並びに被照合データQd1が受信され、薬配送機関により調剤薬局でピックアップされ、配送される薬を受領する際、処方箋コードデータの他に照合データPd1と被照合データQd1の照合を行うこととなる処方箋情報の管理装置。

【請求項23】 複数の医療機関のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続され、各医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信し、特定の調剤薬局のコンピュータに処方箋コードデータに基づく薬の調剤依頼を送信する調剤ネットワークサーバより、該調剤依頼を受信する調剤薬局のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置にあって、調剤ネットワークサーバより処方箋コードデータ並びに該データに基づく調剤の実行の依頼を受信する受信手段M、を備える処方箋情報の管理装置。

【請求項24】 請求項23に係る処方箋情報の管理装置において、受信手段Mにより受信される調剤の実行の

依頼においては、患者の薬の受取り日時その他の指示情報が含まれるものとし、調剤依頼の受認確認をした状態において調剤ネットワークサーバに向けて確認信号を送信する送信手段Nを備えることとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項25】 請求項23に係る処方箋情報の管理装置において、受信手段Mにおいては受信する処方箋コードデータに付随して、当該データに対応する被照合データQb1を調剤ネットワークサーバより併せて受信するとともに、上記被照合データQb1に対応し、調剤ネットワークサーバから患者のコンピュータに向けて送信された照合データPb1を、患者が処方箋コードデータに基づく薬を受取りに来た際に受信し、被照合データQb1と照合データPb1との照合を実行することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項26】 請求項21に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバはさらに薬配送機関のコンピュータにも接続され、受信手段Mにより受信される処方箋コードデータに基づき調剤される薬を受取る薬の配送業者名並びに薬をピックアップする日時に関する情報を受信することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項27】 請求項26に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバにおいては、薬配送機関のコンピュータに、処方箋コードデータに対応し調剤される薬に対応する照合データPc1が送信され、一方、調剤ネットワークサーバからは、上記照合データPc1に対応する被照合データQc1が受信され、薬配送機関が当該調剤薬局に対応する薬の受取りに来た際に照合データPc1を受信し、処方箋コードデータの他に被照合データQc1と照合データPc1との照合を実行することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項28】 複数の医療機関のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続され、各医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信し、特定の調剤薬局のコンピュータに処方箋コードデータに基づく薬の調剤依頼を送信する調剤ネットワークサーバより、調剤された薬を当該特定の調剤薬局でピックアップし、該ピックアップした薬を患者の指定する住所並びに指定する日時に配送する配送依頼を受ける薬配送機関のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバより、処方箋コードデータ並びに該データに付随して、患者への薬の配送先住所からなる配送先情報を受信するとともに、該処方箋コードデータに対応する調剤依頼を実行した調剤薬局の住所、場所に関する薬局情報を受信し、調剤された薬の調剤薬局でのピックアップ並びに患者への配送の実行依頼を受信する受信手段Oと、受信手段Oにより受信され

る配送依頼の実行を受認確認した状態で確認信号を調剤ネットワークサーバへ送信する送信手段Pと、を備えることとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項29】 請求項28に係る処方箋情報の管理装置において、処方箋コードデータに係る薬を薬局情報に係る調剤薬局でピックアップする際、受信手段Oにて受信した処方箋コードデータとピックアップする薬の処方箋コードデータとを照合する照合ステップQと、処方箋コードデータに係る薬を配送先情報に係る患者に配送する際、受信手段Oにて受信した処方箋コードデータと患者のコンピュータに保存される処方箋コードデータを照合する照合ステップRと、を備えることとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項30】 請求項28に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバから調剤薬局のコンピュータに、処方箋コードデータに対応し調剤される薬に対応する被照合データQc1が送信され、一方、調剤ネットワークサーバからは、上記被照合データQc1に対応する照合データPc1が受信され、当該調剤薬局で対応する薬をピックアップする際に照合データPc1を調剤薬局のコンピュータに送信し、被照合データQc1と照合データPc1との照合を実行することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項31】 請求項28に係る処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバにおいては、調剤薬局で調剤され、対応する患者へ配送する場合に、当該薬に対応する被照合データQd1が患者のコンピュータに送信され、一方、調剤ネットワークサーバからは、上記被照合データQd1に対応する照合データPd1が受信され、調剤薬局で薬をピックアップし、さらに配送先情報に基づき患者の指定する住所に薬を配送する際に患者のコンピュータから照合データPd1を受信し、被照合データQd1と照合データとの照合を実行することとなる処方箋情報の管理装置。

【請求項32】 請求項28に係る処方箋情報の管理装置において、薬配送機関のコンピュータは通信機能を備えたモバイルコンピュータ、携帯電話などの携帯情報端末である処方箋情報の管理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明に属する技術分野】本発明は医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報を、調剤薬局、患者等へ送信し、処方箋に基づく調剤を効率的に実行し、なおかつ患者のプライバシーの保護を図ることを目的とする処方箋情報の管理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年のインターネット技術の発達により、様々な事務分野で各種情報のネットワーク通信が行われ、医療分野においても電子カルテの導入や診療報酬

明細書のネットワーク送信などの提案がなされているところである。

【0003】処方箋に関しても例えば病院内で調剤薬局を選択し、処方箋の内容を調剤薬局に送信する「処方箋予約受付システム」（特開平9-245105）の開発なども実施され、こうした技術とインターネット技術を融合することにより、患者が薬局で薬を受領するのに長い時間待つこともなく、効率的な調剤を実行させることが可能である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、ネットワーク通信において、単に処方箋に係る情報を医療機関から調剤薬局に送信させ、調剤を行わせるにしても処方箋は病気の内容を具体的に示す個人情報に係り、その取扱いについては慎重を帰すべきところ、従来こうしたプライバシー保護の観点からの技術的提案はほとんどなされていないのが現実である。すなわち、処方箋は本来医療機関から患者個人に提供されるべき個人情報であり、そのネットワーク上での取扱いについては極力慎重に行われるべきところである。

【0005】本発明はこうした状況に鑑みなされたものであり、医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報を、調剤薬局、患者等へ送信し、処方箋に基づく調剤を効率的に実行するとともに、処方箋情報の通信上の管理を徹底化し、患者のプライバシーの保護を図ることを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明は医療機関のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報を処方箋コードデータとして設定し、登録する処方箋データ登録手段Aと、上記処方箋データ登録手段Aに登録された処方箋コードデータを当該データに対応する患者のコンピュータ、並びに複数の医療機関のコンピュータから処方箋コードデータを受信する調剤ネットワークサーバへ送信する送信手段Bと、を備える処方箋情報の管理装置としたものである。

【0007】また、本発明は複数の医療機関のコンピュータ、各患者のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続される調剤ネットワークサーバに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信する受信手段Cと、受信手段Cにより受信された処方箋コードデータを、調剤ネットワークサーバが統轄する調剤薬局のうちの特定の調剤薬局のコンピュータに送信して処方箋コードデータに基づく調剤の実行を依頼する送信手段

F1と、を備える処方箋情報の管理装置としたものである。

【0008】また、本発明は複数の医療機関のコンピュータ、各患者のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続される調剤ネットワークサーバに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信する受信手段Cと、医療機関のコンピュータから患者のコンピュータに送信され、当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに当該患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータ並びに該データに基づき患者が指定する特定の調剤薬局で該データによる調剤の実行についての依頼を患者のコンピュータより受信する受信手段Dと、受信手段Cと受信手段Dにより受信される各処方箋コードデータとを照合する照合ステップEと、照合ステップEにおいて受信手段Cと受信手段Dにより受信された各処方箋コードデータの照合が確認された状態で、患者が指定する特定の調剤薬局のコンピュータに向けて対応する処方箋コードデータを送信して処方箋コードデータに基づく調剤の実行を依頼する送信手段F2と、患者のコンピュータに向けて、上記送信手段F2により調剤の実行依頼した調剤薬局に関する情報を送信する送信手段G2と、を備える処方箋情報の管理装置としたものである。

【0009】また、本発明は医療機関の医師または歯科医師の診療を受けて、診療ごとに該医師または歯科医師から投与される薬の処方箋の発行を受ける患者のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置にあって、医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信する受信手段Kを備える処方箋情報の管理装置としたものである。

【0010】また、本発明は複数の医療機関のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続され、各医療機関のコンピュータから当該医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信し、特定の調剤薬局のコンピュータに処方箋コードデータに基づく薬の調剤依頼を送信する調剤ネットワークサーバより、該調剤依頼を受信する調剤薬局のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置にあって、調剤ネットワークサーバより処方箋コードデータ並びに該データに基づく調剤の実行の依頼を受信する受信手段M、を備える処方箋情報の管理装置としたものである。

【0011】さらに、本発明は複数の医療機関のコンピュータ、並びに複数の調剤薬局のコンピュータと通信回線により接続され、各医療機関のコンピュータから当該

医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータを受信し、特定の調剤薬局のコンピュータに処方箋コードデータに基づく薬の調剤依頼を送信する調剤ネットワークサーバより、調剤された薬を当該特定の調剤薬局でピックアップし、該ピックアップした薬を患者の指定する住所並びに指定する日時に配送する配送依頼を受ける薬配送機関のコンピュータに設定される処方箋情報の管理装置において、調剤ネットワークサーバより、処方箋コードデータ並びに該データに付随して、患者への薬の配送先住所からなる配送先情報を受信するとともに、該処方箋コードデータに対応する調剤依頼を実行した調剤薬局の住所、場所に関する薬局情報を受信し、調剤された薬の調剤薬局でのピックアップ並びに患者への配送の実行依頼を受信する受信手段Oと、受信手段Oにより受信される配送依頼の実行を受認確認した状態で確認信号を調剤ネットワークサーバへ送信する送信手段Pと、を備えることとなる処方箋情報の管理装置としたものである。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を添付する図面に基づいて説明する。実施形態に係る処方箋情報の管理装置は、図1に示すように病院、医院、歯科医院等の医療機関1内に設置される医療機関のコンピュータ11、特定地域の薬剤師会、特定薬局グループの本部、特定医療機関周辺の各薬局の連合組織において設置される調剤ネットワークサーバ21、該調剤ネットワークサーバ21により統轄され、その傘下にある各調剤薬局4に設置される調剤薬局のコンピュータ41(42、43・・・4n)、上記医療機関において診療を受け、処方箋を受領する患者3が保有する患者のコンピュータ31、並びに調剤薬局4において処方箋に基づき調剤された薬をピックアップし、対応する患者3への配送を実施する運送会社等の薬配送機関5が保有する薬の配送機関のコンピュータ51、にそれぞれ設定されるものである。

【0013】医療機関のコンピュータ11には送受信装置11A並びにメモリ11Bが、調剤ネットワークサーバ21には送受信装置21A並びにメモリ21Bが、調剤薬局のコンピュータ41には送受信装置41A並びにメモリ41Bが、患者のコンピュータ31には送受信装置31A並びにメモリ31Bが、さらに薬配送機関のコンピュータ51には送受信装置51A並びにメモリ51Bがそれぞれ備えられる。各コンピュータ11、21、31、41、51に設定される管理装置は、それぞれ異なる各手段を備えるため、以下説明する。

【0014】「医療機関のコンピュータ」医療機関のコンピュータ11に設定される処方箋情報の管理装置は、医療機関1の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者3へ投与すべき薬の処方箋情報を、処方箋コードデ



ータX1として設定し、メモリ11Bに登録する処方箋データ登録手段Aを備える(図4参照)。処方箋情報には、図5に示す処方せんに表示される患者3の氏名、保険者番号、保険の種類、本人負担割合、年齢、性別、生年月日などからなる患者データ、被保険者名、被保険者番号からなる被保険者データ、医療機関名、医療機関の住所、名称、電話番号、処方箋の発行担当医師または歯科医師などからなる医療機関データ、公費負担番号や公費負担医療の受給者番号からなる公費負担データ、そして診療ごとに発行する処方箋の内容に係る患者3へ投与すべき薬の内容、種類、量、服用法(例、1日3回食後30分以内)や処方箋の交付日、使用期間、さらに当該患者3個人のアレルギー情報などが含まれるところである。処方箋データ登録手段Aは、こうした各データを一連のデータとしてコードデータ化し、その際予め設定されたプロトコルにより暗号化し、下記の各コンピュータのうち、調剤薬局のコンピュータ41において復号化することとしてもよい。すなわち、復号化については、実際に調剤を実施する調剤薬局においてのみ必要であり、その他のコンピュータにおいては単にデータX1を照合データとして利用することで足りる。

【0015】医療機関のコンピュータ11に設定される処方箋情報の管理装置においては、上記処方箋データ登録手段Aにおいて設定された処方箋コードデータX1を、当該データX1に対応する患者のコンピュータ31、並びに複数の医療機関のコンピュータから同様なコードデータを受信する上記調剤ネットワークサーバ21へ送信する送信手段Bが備えられる。実施形態において、送信手段Bは送信する処方箋コードデータX1に付随して、当該データX1に対応する照合データPa1を患者のコンピュータ31に向け送信するようにしている(図2参照)。一方、調剤ネットワークサーバ21に対しては、上記照合データPa1と合致、あるいは対応する被照合データQa1が、データX1に対応して送信されるようにしている。

【0016】「調剤ネットワークサーバ」調剤ネットワークサーバ21は、前記のように例えば特定地域の薬剤師会、特定薬局グループの本部、特定医療機関周辺の各薬局の連合組織に設置されるものとされ、複数の医療機関のコンピュータ11、各患者のコンピュータ31、薬配送機関のコンピュータ51、並びに傘下にある各調剤薬局のコンピュータ41(42、43、・・・4n)と通信回線(例えばインターネット回線)により接続される。調剤ネットワークサーバ21に設定される処方箋情報の管理装置には、医療機関のコンピュータ11から当該医療機関1の医師または歯科医師が診療ごとに当該患者3へ投与すべき薬の処方箋情報に関する処方箋コードデータX1を受信する受信手段Cが備えられる。処方箋コードデータX1並びに被照合データQa1は送受信装置21Aにおいて受信され、メモリ21Bに一旦登録さ

れ、保存されることとなる。

【0017】一方、患者のコンピュータ31からは、上記医療機関のコンピュータ11から患者のコンピュータ31へ送信された処方箋コードデータX1、並びに該データX1に基づき、患者3が指定する特定の調剤薬局4での調剤の実行についての依頼が、照合データPa1とともに受診手段Dにて受診される。こうしたデータX1、Pa1についても送受信装置21Aにおいて受信され、メモリ21Bに登録された対応する患者3における処方箋コードデータX1との照合が実行される(照合ステップE)。ここで照合は、コードデータX1の他にも、被照合データQa1と照合データPa1についても併せて実行され、両者が対応、あるいは合致するかどうかにについて確認されることとなる。

【0018】ここで現行の薬事法制下においては、患者3の意思と関係なく、医療機関1が調剤する薬局を自ら指定したり、選定することを禁止している。すなわち、処方箋に基づく調剤の依頼は、現行法ではあくまで患者3の意思に基づかなければならないため、図2に示すように患者のコンピュータ31からコードデータX1を受信し、患者3が指定する調剤薬局4での調剤の実行についての依頼を受信手段Dにて受信するようにしている。このため、調剤ネットワークサーバ21の管理装置においては、該サーバ21と通信回線により接続され得る各調剤薬局4の場所(地図情報等)、営業時間、薬剤師名、薬価(調剤価格)などからなる薬局情報を開示し、あるいは患者のコンピュータ31に向けて送信する薬局情報の開示手段Hが備えられる(図6参照)。すなわち、この開示手段Hは、例えばホームページで各調剤薬局に関する薬局情報を開示したり、また患者のコンピュータ31からのアクセスに基づき、例えば患者3の最寄りの薬局等に関する情報を送信するようにしている。患者のコンピュータ31は、こうした薬局情報の中から具体的に処方箋コードデータX1に基づく調剤の実行を依頼すべき薬局を選定して依頼を行い、前記調剤ネットワークサーバ21の受信手段Dはその内容を受信することとなる。さらに、管理装置においては開示手段Hにより開示された薬局情報に基づき、患者のコンピュータ31から当該患者3が処方箋情報に基づく調剤並びに調剤された薬の受取りを希望する薬局に関する指示情報を受信する受信手段I(図6参照)が併せて備えられる。すなわち、この受信手段Iが受信する指示情報は、調剤薬局4への調剤依頼とともに、当該薬局4へ患者が薬を受取りに行く希望時間等を併せて含むものとしている(図2参照)。

【0019】こうして、受信手段Dや受信手段Iにより特定の調剤薬局4での調剤依頼が受信され、前記照合ステップEにおけるコードデータX1の照合並びに被照合データQ21と照合データPa1の照合が行われ、対応する患者3を確認した段階で、管理装置は患者3が指定



する特定の調剤薬局のコンピュータ41に向け、送受信装置41Aから処方箋コードデータX1を送信し、処方箋コードデータX1に基づく調剤の実行を依頼する（送信手段F2、図6参照）。これとともに、患者のコンピュータ31に対しては、調剤の実行を患者3の指定する調剤薬局4に対して行ったことを管理装置の送信手段G2が送信し（図6参照）、該送信手段G2は調剤薬局4に関する詳しい情報、すなわち当該薬局4に調剤ネットワークサーバ21が調剤依頼の送信を実施し、その受認が受信された旨の受認確認の情報、あるいは当該薬局4での処方箋コードデータX1に基づく薬の受取り時間、受取り時間帯に関する情報を送信するようにしている（図2参照）。これに先立ち、調剤薬局のコンピュータ41からは、こうした受認確認、薬の受取り時間等に関する情報が送受信装置21Aにおいて受信され（図2参照）、該受信された受認確認の情報は医療機関のコンピュータ11に対しても調剤ネットワークサーバ21が送信し（図2参照）、処方箋コードデータX1に基づく調剤を行った調剤薬局4の情報を医療機関のコンピュータ11のメモリ11Bに確認のため、保存させるようにしている。

【0020】送信手段F2に基づき、調剤薬局のコンピュータ41に向けて処方箋コードデータX1並びに調剤の実行についての依頼を送信するに際しては、これに付随して当該データに対応する被照合データQb1を併せて調剤薬局のコンピュータ41に向けて送信する（図2参照）。一方、患者のコンピュータ31に対しては、上記被照合データQb1と合致、あるいは対応する照合データPb1が上記送信手段G2により、調剤薬局4に関する情報とともに送信される。これら照合データPb1と被照合データQb1は、患者3が対応する調剤薬局4に処方箋コードデータX1に基づく薬の受取りに行った際に照合されるものであり、これについては後に詳述するところである。

【0021】上記受信手段Dにて、患者のコンピュータ31から処方箋コードデータX1に基づく調剤の実行についての依頼が受信されるのに伴ない、当該患者3が調剤される薬の配送を自宅、職場、その他の場所に配送を希望する情報が送信される場合、調剤ネットワークサーバ21の管理装置は、受信する処方箋コードデータX1に対応して患者3への薬の配送先住所等からなる配送先情報を送受信装置21Aにおいて受信する。管理装置は、受信された配送先情報をコードデータX1に付随してメモリ21Bに記憶させるとともに、これらの情報を送受信装置21Aより薬配送機関のコンピュータ51に向けて送信する（図2参照）。送信する情報としてはコードデータX1、配送先情報の他、上記送信手段F2により調剤の実行についての依頼を行った調剤薬局4の住所、場所に関する薬局情報が含まれ、調剤された薬の対応する調剤薬局4でのピックアップ並びに患者3への配

送の実行についての依頼を管理装置の送信手段Jにより送信するようにしている（図6参照）。

【0022】送信手段Jにおいて送信した薬のピックアップ並びに患者3への配送についての依頼を送信した後、薬配送機関のコンピュータ51からはその受認確認についての情報が受信され、これに基づき調剤ネットワークサーバ21の管理装置は、上記送信手段F2により、調剤の実行依頼を送信する調剤薬局のコンピュータ41に対し、処方箋コードデータX1に付随して、薬配送機関5の名称、当該調剤される薬のピックアップ時間などからなる薬配送機関情報を併せて送信する。さらに加えて、上記送信手段G2により調剤薬局4に関する情報を送信する患者のコンピュータ31に対しても、調剤薬局4に関する情報に付随して、当該調剤薬局4でピックアップされ、患者3が指定する住所に当該薬の配送を実行する薬配送機関名、当該薬の配送時間などからなる配送情報を併せて送信することとする（図2参照）。

【0023】調剤ネットワークサーバ21の管理装置は、上記送信手段Jにより薬配送機関のコンピュータ51に、調剤された薬の対応する調剤薬局4でのピックアップの依頼を実行するに際し、当該処方箋データX1に基づく薬に対応する照合データPc1を上記配送機関情報に付随させて送信する。一方、調剤薬局のコンピュータ41に対しては、送信手段F2により、処方箋コードデータX1並びに上記薬配送機関情報を送信するに際し、上記照合データPc1と合致、あるいは対応する被照合データQc1を併せて送信する。これら照合データPc1と被照合データQc1は、薬配送機関5が対応する調剤薬局4に処方箋コードデータX1に基づく薬をピックアップする際に照合されるものであり、これについては後に詳述するところである。

【0024】また上記送信手段Jにより薬配送機関のコンピュータ51に、上記各情報を送信するに際しては、さらに当該処方箋コードデータX1に基づく薬に対応する配送先情報に付随させて、照合データPd1が併せて送信される。一方、患者のコンピュータ31に対しては、送信手段G2により、処方箋コードデータX1の他、送信される各情報に付随して被照合データQd1が送信される。この被照合データQd1は上記照合データPd1と合致、あるいは対応するものとされ、薬配送機関5が調剤薬局4で薬をピックアップし、さらに患者3が指定する住所に当該薬が配送された際、これら照合データPd1と被照合データQd1の照合が行われ、これについては後に詳述するところである。

【0025】ところで、現行の薬事法制の下においては、前記のとおり医療機関1が発行した処方箋については、患者3の意思に基づき、患者3自身が調剤薬局4を選択、指定して調剤が実施されるところである。しかし、こうした法的規制が将来緩和され、患者3が医療機関1で診療を受けた段階で患者3の希望情報に基づき、

処方箋に基づく薬を患者3の希望する住所や場所に配送したり、患者3が希望する受取りの場所の薬局に希望時間に受取りに行くことが、自由に認められる状況が考えられる。こうした状況の下において、調剤ネットワークサーバ21は、図3に示すように患者のコンピュータ31から処方箋コードデータX1に基づく特定の調剤薬局4での調剤実行についての情報を受信することなく、医療機関のコンピュータ11から受信手段Cに基づき処方箋コードデータX1を受信し、これに基づき、管理装置の送信手段F1が、サーバ21の統軸する調剤薬局4のうち、特定の調剤薬局のコンピュータ41(42、43、4n)に当該コードデータX1に基づく調剤の実行を依頼することとしてもよい(図6参照)。この場合において、患者3が薬の受け取りを希望する調剤薬局の指示情報や、当該患者3が配送を希望する場合の配送先情報を、調剤ネットワークサーバ21が、医療機関のコンピュータ11から処方箋コードデータX1に対応して受信することとなる。また、こうした指示情報や配送先情報についてのみ、患者3が患者のコンピュータ31から調剤ネットワークサーバ21に向け、処方箋コードデータX1に対応させて送信してもよい。

【0026】さらに調剤ネットワークサーバ21の管理装置においても図6に示す送信手段G1により、患者のコンピュータ31に向けて上記送信手段F1により調剤の実行を依頼した調剤薬局に関する情報を確認的に送信するようにしてもよい(図3参照)。この際、送信手段G1は、薬局情報とともに調剤薬局4において薬を受取る際の前記照合データPb1、あるいは薬配送機関5により配送された薬を受領する際の前記被照合データQd1を送信することとしてもよい(図3参照)。加えて、患者3が指定する住所に当該薬の配送を実行する薬配送機関名、当該薬の配送時間などからなる配送情報を送信することとしてもよい。

【0027】このように、薬事法制が今後変わった場合においては、図3に示す調剤ネットワークサーバ21のシステム構成により対応することが可能であるが、図3におけるその他の部分の構成は図2の場合と同様であるため説明を省略する。

【0028】「患者のコンピュータ」医療機関の医師または歯科医師の診療を受けて、診療ごとに該医師または歯科医師から投与される薬の処方箋(例えば図5に示す処方せん)の発行を受ける患者3にあっては、例えば患者3が保有する携帯電話、モバイルコンピュータなどからなる患者のコンピュータ31により当該医療機関のコンピュータ11にアクセスし、上記発行を受けた処方箋に関する情報を受信することとする。

【0029】すなわち、患者のコンピュータ31に設定される処方箋情報の管理装置においては、医療機関のコンピュータ11から当該医療機関1の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者3へ投与すべき薬の処方箋

情報に関する処方箋コードデータX1を受信する受信手段Kを備える(図7参照)。ここで図2に示す現行の薬事法制下のシステムにおいては、患者のコンピュータ31に設定される管理装置に、送信手段Lが設定され、該手段Lは受信手段Kにより受信される処方箋コードデータX1を調剤ネットワークサーバ21に向けて送信し、該サーバ21において対応する医療機関から送信される処方箋コードデータX1との照合を実行させて、調剤ネットワークサーバ21から特定の調剤薬局4に処方箋コードデータX1に基づく薬の調剤依頼を実行させることとしてなる(図7参照)。この場合、患者のコンピュータ31は調剤ネットワークサーバ21に対してアクセスし、あるいは調剤ネットワークサーバ21より受信することで、各調剤薬局の場所、営業時間に関する薬局情報に開示を受け、送信手段Lにおいては開示されたこれら薬局情報に基づき、調剤依頼を行う特定の薬局4を選択し、該特定の調剤薬局4に対する処方箋コードデータX1に基づく調剤の実行の依頼を調剤ネットワークサーバ21に送信することとしている。また、該サーバ21に対し、薬の当該薬局での受取り日時その他の指示情報を送信することとしてもよい。

【0030】こうして送信された調剤の実行依頼、指示情報に対し、調剤ネットワークサーバ21からは、調剤依頼が行われた場所等に関する調剤薬局に関する情報や調剤ネットワークサーバ21より当該薬局の調剤に関する受認確認並びに薬の受取り時間に関する情報が送受信装置31Aに受信されることとなる。

【0031】図2に示す現行の薬事法制下のシステムにおいて、受信手段Kにおいては、受信する処方箋コードデータX1に付随して、当該データX1に対応する照合データPa1が医療機関のコンピュータ11から受信される。該照合データPa1は一旦メモリ31Bに保存され、上記送信手段Lにより調剤ネットワークサーバ21に調剤の実行依頼を送信する際に調剤ネットワークサーバ21に併せて送信される。そして調剤ネットワークサーバ21においては、同じく医療機関のコンピュータ11から受信される処方箋コードデータX1に付随する被照合データQa1と上記照合データPa1との照合が実行されることとなる。

【0032】調剤ネットワークサーバ21からは、図2あるいは図3に示すように薬局情報に対応して該サーバ21が設定した照合データPb1が送受信装置31Aに受信され、この照合データPb1はメモリ31Bに一旦保存され、患者3が調剤薬局4に調剤された薬を受取りに行く際に処方箋コードデータX1とともに調剤薬局のコンピュータ41に送信等の方法により呈示され、被照合データQb1との照合が実行される。

【0033】調剤ネットワークサーバ21は、図2あるいは図3に示すように薬配送機関のコンピュータ51にも接続され、患者3は医療機関1において処方箋の発行

を受ける際、患者3が医療機関1に対し自宅その他の住所への薬の配送依頼を行ったり、また上記送信手段Lにより患者のコンピュータ31から調剤ネットワークサーバ21に調剤依頼の実行を送信する際、患者3が配送先住所、配送希望時間からなる配送先情報を併せて送信し、配送依頼を行うこととしてもよい(図2参照)。

【0034】この際調剤ネットワークサーバ21から患者のコンピュータ31に対しては、処方箋コードデータX1に基づき調剤を実行する調剤薬局4に関する情報の他、当該調剤薬局4でピックアップされ、患者3が指定する住所に当該薬の配送を実行する薬配送機関名、当該薬の配送時間などからなる配送情報が送信され、患者のコンピュータ31の送受信装置31Aに受信されて患者3がそれを確認することとなる。

【0035】加えて、調剤ネットワークサーバ21からは、上記配送情報に付随して被照合データQd1が受信され、一旦メモリ31Bに保存される。一方、調剤ネットワークサーバ21から薬配送機関のコンピュータ51に対しては被照合データQd1と合致し、あるいは対応する照合データPd1が送信され、一旦メモリ51Bに保存される。そして薬配送機関5により患者3に薬が配送される際に処方箋コードデータX1とともに薬配送機関のコンピュータ51に送信等の方法により被照合データQd1が呈示され、照合データPd1との照合が実行されることとなる。

【0036】「調剤薬局のコンピュータ」調剤ネットワークサーバ21の傘下にある各調剤薬局のコンピュータ41の処方箋情報の管理装置にあっては、調剤ネットワークサーバ21より処方箋コードデータX1並びに該データX1に基づく調剤の実行の依頼を受信する受信手段Mが備えられる(図8参照)。受信手段Mにより受信される調剤の実行の依頼においては、患者3の当該薬局4での薬の受取り日時その他の指示情報が含まれるものとし、こうした調剤依頼の受認を確認した状態において、管理装置には調剤ネットワークサーバ21に向けて受認確認に係る確認信号を送信する送信手段Nが備えられる(図7参照)。

【0037】さらに上記受信手段Mにおいては、受信する処方箋コードデータX1に付随して、当該データX1に対応し、調剤ネットワークサーバ21が設定した被照合データQb1を受信する。受信した被照合データQb1は、一旦メモリ41Bに保存される。一方、調剤ネットワークサーバ21においては、上記被照合データQb1と合致、あるいは対応する照合データPb1が患者のコンピュータ31へ向けて送信される。そして患者3が処方箋コードデータX1に基づき、調剤された薬を当該調剤薬局4に受取りに来た際に、調剤薬局のコンピュータ41は、処方箋コードデータX1を患者のコンピュータ31から受信して対応するコードデータX1かどうかについて照合するとともに、メモリ41Bに保存された

被照合データQb1と呈示された照合データPb1との照合を実施し、患者3本人かどうかを確認するようにしている。

【0038】調剤薬局4の薬剤師においては、処方箋コードデータX1を復号化し、調剤を実施するが復号化のプロトコルについては予め医療機関のコンピュータ11と共有化してなる。また調剤を実施する際、患者3のアレルギーデータを確認し、調剤される薬が適正なものかどうかについても確認する。

【0039】さらに調剤された薬を薬配送機関5が当該調剤薬局4においてピックアップする場合は、調剤ネットワークサーバ21から上記受信手段Mにおいて、処方箋コードデータX1に基づき調剤される薬を受取る薬配送機関5の名称や担当者名並びに薬をピックアップする日時に関する情報が受信され、調剤薬局4においてこれらの内容を確認した場合、上記送信手段Nにて受認確認の確認信号を調剤ネットワークサーバ21に送信するようにしている。

【0040】調剤ネットワークサーバ21においては、調剤される薬を患者3に配送する場合、薬配送機関のコンピュータ51に向けて処方箋コードデータX1に対応し、調剤される薬に対応する照合データPc1が送信される。一方、調剤ネットワークサーバ21から調剤薬局のコンピュータ41に対しては、上記照合データPc1と合致し、あるいは対応する被照合データQc1が上記受信手段Mにおいて併せて受信され、該被照合データQc1は一旦メモリ41Bに保存されることとなる。そして薬配送機関5が処方箋コードデータX1に基づき、調剤された薬を当該調剤薬局4にピックアップしに来た際に、調剤薬局のコンピュータ41は処方箋コードデータX1を薬配送機関のコンピュータ51(実際には薬配送業者5の配達員が所持するモバイル端末)から受信して対応するコードデータX1かどうかについて照合するとともに、メモリ41Bに保存されて、被照合データQc1と呈示された照合データPc1との照合を実施し、該当する薬配送機関5かどうかを確認するようにしている。

【0041】なお、ここで調剤薬局のコンピュータ41は、患者のコンピュータ31から照合データPb1を、また薬配送機関のコンピュータ51から照合データPc1の受信を受け、被照合データQb1あるいはQc1との照合を実施しようとしているが、被照合データQb1を患者のコンピュータ31に、また被照合データQc1を薬配送機関のコンピュータ51に送信し、各コンピュータ31、51において照合を実施させることとしてもよい。

【0042】「薬配送機関のコンピュータ」調剤ネットワークサーバ21においては、上記のように患者のコンピュータ31から、あるいは医療機関のコンピュータ11から直接、患者3への処方箋コードデータX1に基づ

き、調剤された薬の配送依頼を受信することとしているが、薬配送機関のコンピュータ51に設定される処方箋情報の管理装置においては、調剤ネットワークサーバ21より、処方箋コードデータX1並びに該データX1に付随して、患者3への薬の配送先住所からなる配送先情報、処方箋コードデータX1に対応する調剤依頼を実行した調剤薬局4の住所、場所に関する薬局情報、並びに調剤された薬の調剤薬局4でのピックアップと患者3への配送の実行依頼を受信する受信手段Oが備えられる(図9参照)。

【0043】薬配送機関のコンピュータ51の管理装置においては、こうした配送の実行依頼を受信手段Oで受信し、当該配送依頼の実行を受認確認した状態で、確認信号を調剤ネットワークサーバ21に送信する送信手段Pを備える(図9参照)。

【0044】薬配送機関のコンピュータ51は、薬配送機関5の会社の本部、あるいは配送組合の本部に設置され、調剤ネットワークサーバ21と通信回線により接続されるサーバとしているが、実際に車両等により配送を行う配送員においても該サーバと通信回線により接続されるモバイル端末あるいは携帯電話を保有しており、配送員はサーバと接続される当該モバイル端末の指示に基づき、対応する調剤薬局4での薬のピックアップ、並びに患者3への薬の配送を実行することとしている。

【0045】そして薬配送機関のコンピュータ51の管理装置においては、処方箋コードデータX1に係る薬を上記薬局情報に係る調剤薬局4でピックアップする際、受信手段Oにて受信した処方箋コードデータX1と患者のコンピュータ31に保存される処方箋コードデータX1とを照合する照合ステップQを備えることとしてもよい(図9参照)。また、調剤薬局4で薬をピックアップする際、調剤薬局のコンピュータ41に処方箋コードデータX1を送信し、メモリ41Bに保存される対応するコードデータX1との照合を調剤薬局のコンピュータ41において実行させることとしてもよい。

【0046】さらに薬配送機関のコンピュータ51の管理装置においては、処方箋コードデータX1に係る薬を配送先情報に係る患者3に配送する際、受信手段Oにて受信した処方箋コードデータX1と患者のコンピュータ31に保存される処方箋コードデータX1を照合する照合ステップRを備えることとしてもよい(図9参照)。また患者3に薬を配送する際、患者のコンピュータ31に処方箋コードデータX1を送信し、メモリ31Bに保存される対応するコードデータX1との照合を患者のコンピュータ31において実行させることとしてもよい。

【0047】また受信手段Oにおいては、受信する処方箋コードデータX1に付随して、調剤ネットワークサーバ21が設定した照合データPc1を受信し、このデータPc1は一旦メモリ51Bに保存される。一方、調剤ネットワークサーバ21においては、上記照合データP

c1と合致し、あるいは対応する被照合データQc1が調剤薬局のコンピュータ41に向けて送信される。そして薬配送機関5が当該調剤薬局4で対応する薬をピックアップする際、配達員が所持するモバイル端末において上記処方箋コードデータX1とともに、被照合データQc1を調剤薬局のコンピュータ41より受信し、照合データPc1と被照合データQc1との照合を実施することとしてもよい。また、配達員が所持するモバイル端末において上記処方箋コードデータX1とともに、照合データPc1を調剤薬局のコンピュータ41に送信し、調剤薬局のコンピュータ41において照合データPc1と被照合データQc1との照合を実行させるようにしてもよい。

【0048】さらに受信手段Oにおいては、受信する処方箋コードデータX1に付随して、調剤ネットワークサーバ21が設定した照合データPd1を受信し、このデータPd1は一旦メモリ51Bに保存される。一方、調剤ネットワークサーバ21においては、上記照合データPd1と合致し、あるいは対応する被照合データQd1が患者のコンピュータ31に向けて送信される。そして調剤薬局4でピックアップし、対応する患者3の配送先住所に薬を配送する際、配達員が所持するモバイル端末において上記処方箋コードデータX1とともに、被照合データQd1を患者のコンピュータ31より受信し、照合データPd1と被照合データQd1との照合を実施することとしてもよい。また、配達員が所持するモバイル端末において上記処方箋コードデータX1とともに、照合データPd1を患者のコンピュータ31に送信し、患者のコンピュータ31において照合データPd1と被照合データとの照合を実行させることとしてもよい。

【0049】このように、本実施形態においては、医療機関のコンピュータ11が設定した処方箋コードデータX1を調剤ネットワークサーバ21、患者のコンピュータ31、調剤薬局のコンピュータ41、薬配送機関のコンピュータ51へと送信し、該データX1を確認し、最終的に患者3の下に薬が受取られることとなる。よって薬局4において患者3が長い時間待つこともなく、患者への処方箋に基づく薬の提供を患者のプライバシーを保護する状態で確実に行うことができる。

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、医療機関の医師または歯科医師が診療ごとに発行する患者へ投与すべき薬の処方箋情報を、調剤薬局、患者等へ送信し、処方箋に基づく調剤を効率的に実行するとともに、処方箋情報の通信上の管理を徹底化し、患者のプライバシーの保護を図ることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 処方箋情報の管理装置が設定される各コンピュータのネットワーク上の接続構成を示すブロック図である。

【図2】 本発明の一実施形態に係り、各コンピュータ

間で送受信される信号の内容を示すブロック図である。

【図3】 本発明の他の実施形態に係り、各コンピュータ間で送受信される信号の内容を示すブロック図である。

【図4】 医療機関のコンピュータの作動系統を示すフローチャートである。

【図5】 コードデータ化される処方箋を示す説明図である。

【図6】 調剤ネットワークサーバの作動系統を示すフローチャートである。

【図7】 患者のコンピュータの作動系統を示すフローチャートである。

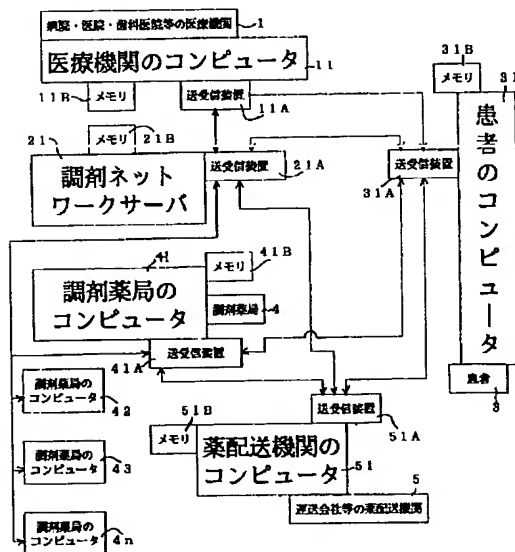
【図8】 調剤薬局のコンピュータの作動系統を示すフローチャートである。

【図9】 薬配送機関のコンピュータの作動系統を示すフローチャートである。

# 【符号の説明】

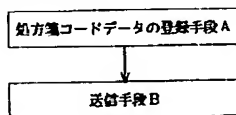
- 1 医療機関
- 3 患者
- 4 調剤薬局
- 5 薬配送機関
- 11 医療機関のコンピュータ
- 21 調剤ネットワークサーバ
- 31 患者のコンピュータ
- 41、42、43、47 調剤薬局のコンピュータ
- 51 薬配送機関のコンピュータ
- 11A、21A、31A、41A、51A 送受信装置
- 11B、21B、31B、41B、51B メモリ
- X1 処方箋コードデータ
- Pa1、Pb1、Pc1、Pd1 照合データ
- Qa1、Qb1、Qc1、Qd1 被照合データ

【図1】

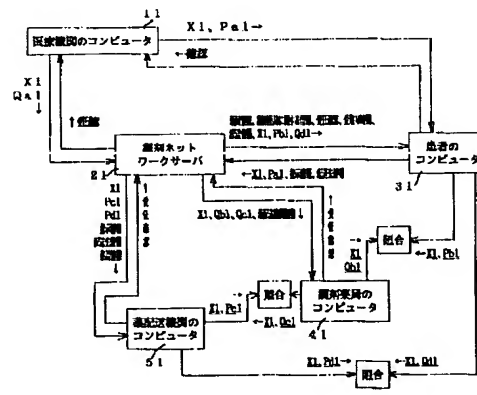


【図4】

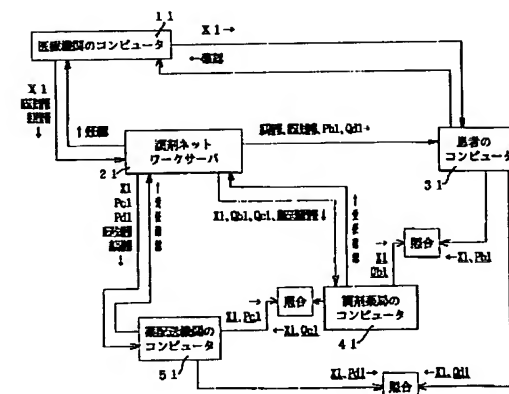
## 医療機関のコンピュータ



【図2】



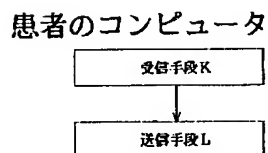
【図3】



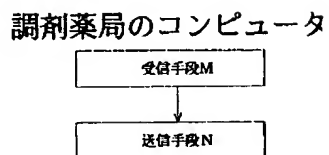
【図5】

処方せん			
公費負担者番号		保険者番号	
公費負担医療 の受給者番号		被保険者証 被保険者予 備の番号	
患 者	姓 名	性別	年齢
住所		保険医療機関の 所在地および名称	
医師		電話番号	
医師または歯科医師名		医師または歯科医師名	
(外来) ○○○○ ml 電話 112-34 1134 (外来) ○○○○ ml 電話 112-34 1134 (外来) ○○○○ mg 1134 電話 3045 11 (外来) ○○○○ 34 電話 3045 11			
備考 7/11-12			

【図7】

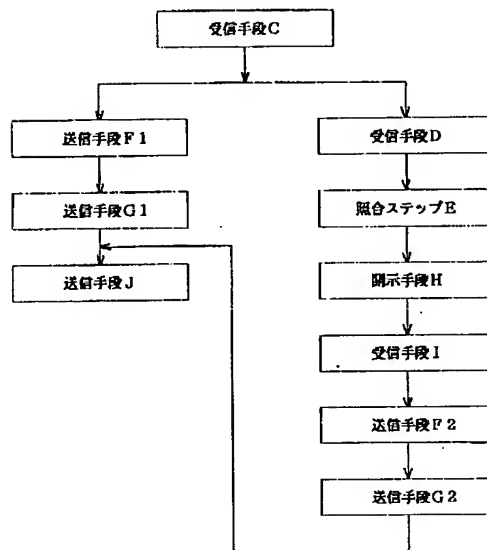


【図8】



【図6】

調剤ネットワークサーバ



【図9】

薬配送機関のコンピュータ

